

幸せになるビジネスコミュニケーション vol.2

ファイナンシャルプランナー 岩城みずほ

前回、コミュニケーションをスキルアップさせるスタート地点は、「自分らしいコミュニケーションの姿」「身につけたいコミュニケーションスキル」を具体的にイメージすること。憧れの人をロールモデルにしてもいいですよ、とお伝えしました。

今日は、これについてももう少し考えてみたいと思います。

さて、まず、皆さんは、「自分らしさ」ってどういうイメージがありますか？価値の多様化された現代社会において、「自分らしさ」というのは肯定的に使われていることが多いと思います。自分らしく生きるということは、心地よいものです。誰しも「自分らしさ」を発揮して独特の世界観やビジネスモデルを構築し、社会に素晴らしい貢献をしたいと思うでしょう。

しかし、こんな言い方もあります。

「個性ある金太郎飴が、ビジネスマナーの本質である」(「大人の条件」I. P. ジャパン)

これは、個性さえ強調すればよいという風潮があるが、切る所によって顔がまるで違うというのは社会人として不適格である。結果として似たような顔が出てくるのがビジネスマナーであり、しかしながら、没個性ではいけない。という矛盾をはらんだセンテンスです。

どうやら、「自分らしさ」には注意が必要なようです。 「自分らしさ」を勘違いしてしまうと、それはある種の甘えにつながってしまうようです。社会に容認してもらえないという危険も生みだしそうです。

私たちは、「自分らしさ」という個性の多様性を持ち、かつ、社会人としての統一性も持ち得ている。そんなコミュニケーションスキルを身につける必要がありますね。

では、「自分のなりたい姿」「身につけたいコミュニケーションスキル」を明確にしてみましょう。

自分の「軸」になるイメージを持つのは、非常に大切だと思います。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

「軸」は、何かに迷った時に戻る場所です。進みたい方向に繋がっている道です。よく「ブレない人」といういい方をしますが、逆に一貫性に欠ける（ブレる）というのは、社会生活においてマイナスイメージのようです。

そして、このとき、忘れてはならないのが、他者の視線を意識すること。社会との関係性を抜きにして考えることはできませんね。そう、「個性ある金太郎飴」です。

では、始めましょう。みなさん、「憧れの人」を思い浮かべてみてください。こんな人になりたいという人はいますか？職場や友人にそんな人が思い浮かぶあなたは幸せですね。有名人でも結構です。外見、ファッション、雰囲気、話し方、表情、しぐさ、考え方、人柄、仕事の仕方、人との接し方、或いは、こういう生き方を目指したいというのでも構いません。

思い浮かべたら、今度は、自分はその人のどんなところが好きなのか、魅力的に思っているのか、目指したのかを箇条書きにしてみてください。

いかがですか？たくさんキーワードが並びましたか？これらのキーワード、重複しているものを整理して、手帳などにぜひ書き留めておいてくださいね。

コミュニケーションのスキルアップの前提にあるのは、社会人として人間として成長していくということ、という気がしてなりません。

「一緒にいて楽しい人」「また、会いたくなる人」がいます。そんな素晴らしい方をよく観察してみると、気持ちのよいマナーやエチケットがちゃんと身についていらっやいます。そして、心が豊かで、優しい方、温かな方が多いように思います。

私も、「あなたと一緒に仕事がしたい」「あなたと一緒に〇〇をしたい」とたくさんの人に言ってもらえる人に早くなりたいものだと思います。